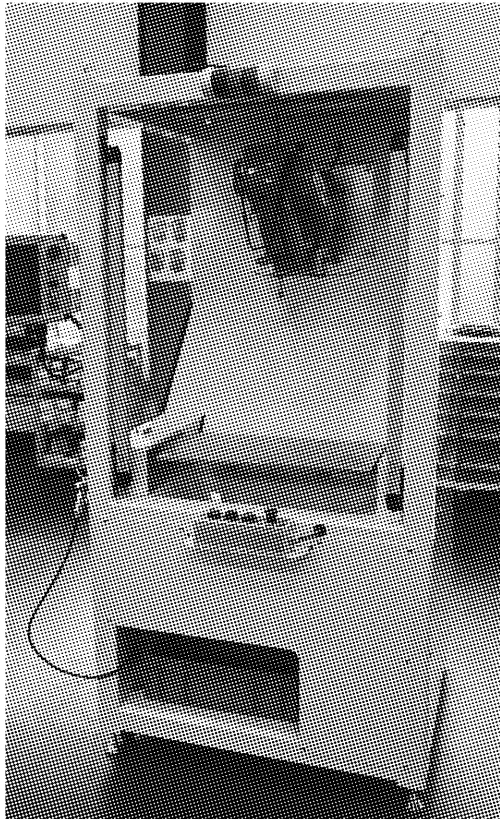


自動化を支える

松下工業



鋳物の中空部分を作る
製造用砂型「中子」を手
月が発売した。それが
がける松下工業（静岡県
磐田市、松下隆彦社長）
には、自社の製造ノウハ
ウを生かしたロボットシ
ステムインテグレーター
（Sier）の顔があ
る。Sier事業の特徴
は「中子の搬送やバリ取
りなどに特化している」
（松下晴彦専務）とい
うことだ。長年自社の工
場で稼働してきた実績の
あるロボットによる自動
化を同業に提案している。
従来は案件ごとにロボ
ットシステムの仕様を検
討し納入してきたが、こ
のほど同社初となるパッ
ク化の中子のバリ取りの自動
化に必要な機材を一式にし
た。

ケース商品を開発し、6
月に発売した。それが
「中子バリ取りロボット
（NBR）」だ。
徐々に手がける自動化
案件は増えている。専門
の部署を持ち、自分たち
で自動化する大手や中堅
企業もある。ただ中子の
業界で最も必要性がある
中小零細企業の自動化が
進んでいない。NBRは
そうした中小零細企業に
向けたロボットシステム
として考案した。

幸いにして自社工場と
外部の案件から、中子の
サイズや必要な機材の傾
向は把握している。それ
らを筐体（きようたい）
内へ一式にすることで、
導入しやすいパッケージ
商品に仕立てた。

中子バリ取りパック化

NBRの商品構成は、
バリを取るダイヤモンド
ヤスリ、工具回転用のモ
ーター、テーブル、安全
装備など。上位グレード
の2機種は付加軸でテー
ブル上の中子を回転する
こともできる。ロボット
は安川電機製の可搬重量
8kgモデルか、フアナ
ック製同8kgモデルを
選択する。本体のサイズ
は縦・横1000mm×高
さ2050mm。加工す
る中子のサイズは最大で
縦300mm×横450mm
×300mmを想定。バ
リ取り後に発生する砂は
外に漏れない構造にする
といった「現場での使い
やすさ」を追求した「
（同）仕様だ。

当面は中子のバリ取り
に特化して
拡販する
が、そのほ
かの用途を
希望するユ
ーザーが出
てくる可能
性もある。
そうした新
たなニーズ
にも柔軟に
対応する方
針だ。